

2022年3月15日

株式会社アートネイチャー

2022年劇団☆新感線 42周年興行・春公演  
いのうえ歌舞伎『神州無頼街』  
アートネイチャーの芸能担当グループ企業『アート三川屋』ウィッグ製作・協力

毛髪に関する総合サービスを提供する株式会社アートネイチャー（本社：東京都渋谷区 代表取締役会長兼社長：五十嵐祥剛）の芸能部門を担当するグループ企業『アート三川屋』は、2022年劇団☆新感線 42周年興行・春公演 いのうえ歌舞伎『神州無頼街』のウィッグ製作にて協力しています。

○公式ホームページ

<http://www.vi-shinkansen.co.jp/shinshuburaigai/>



【あらすじ】

時は幕末、ところは駿河国の清水湊。清水湊にその人なりと噂された侠客・清水野次郎長の快気祝いのため、ある料亭に甲州駿河の名だたる博徒の親分衆が集まっていた。

続々訪れる親分方を調子よく迎える男がいた。他人の事情に勝手に口を出しては銭にする“口出し屋”の草臥（宮野真守）である。さっそく次郎長一家からも銭をせしめようと、幹部の小政の人探しを手伝うことに。次郎長

が出入りで受けたひどい傷を直したという、評判の町医者・秋津永流(富士蒼汰)だ。次郎長復帰の立役者を宴席に誘うため、探しにいく草臥と大政、小政。座敷では次郎長の快気を祝い、親分衆が膳を囲んでいた。そこへ、今売り出し中の侠客・身堂蛇蝸(高嶋政宏)が現れる。妻・麗波(松雪泰子)、息子・凶介(木村了)、娘・揚羽(清水葉月)を引き連れ、己の顔見せのために次郎長の宴席へと乗り込んだのだ。無作法な挨拶にいきり立つ親分衆だったが、突然もがき苦しみはじめた。首に痛みを感じた次郎長が掴んだのはなんと蠍。当時のこの国では見かけない毒蟲を使い、親分衆を皆殺しにし、彼らのシマを貰うとうそぶくと姿を消す。そこに駆けつける永流。瀕死の次郎長だったが、永流は持っていた毒消しでかろうじて彼の命を救う。一方、辺りを調べに走った草臥は凶介に出会う。その顔は、昔なじみと瓜二つだった。だが、凶介は覚えがない。不審に思う草臥。

日の本にはいない毒蟲を使う侠客。昔なじみにそっくりの男――。

謎に満ちた身堂一家を探るため、永流と草臥は彼らの根城である富士の裾野の無頼の宿を訪れる。蛇蝸と麗波が築き上げたその街は、喧騒と猥雑と絢爛と頹廢に満ちていた。豪胆にして無慈悲な蛇蝸が仕掛ける、人の命を金で買う大博打。その妖しき美貌と奇怪な術で人を惑わす麗波。草臥に刃を向ける凶介の正体は。揚羽と側近の風天干之介(栗根まこと)らに秘められた過去とは。身堂一家が巻き起こす無頼の風に巻き込まれる永流と草臥。その果てに己自身の宿命と因縁が明らかになり、やがて、日の本の命運すら揺るがす策謀と立ち向かうことになることを彼らはまだ知らない。

作	中島かずき
演出	いのうえひでのり
出演	富士蒼汰／松雪泰子、高嶋政宏／栗根まこと、木村了、清水葉月／宮野真守 ほか

#### ◆大阪公演

会 場 :オリックス劇場

公 演 期 間 :2022年3月17日(木)～3月29日(火)

料金(全席指定・税込) :S席 15,800円 / A席 7,800円 / ヤングチケット 2,200円

#### ◆静岡公演

会 場 :富士市文化会館ロゼシアター 大ホール

公 演 期 間 :2022年4月9日(土)～4月12日(火)

料金(全席指定・税込) :S席 14,800円 / A席 11,800円 / ヤングチケット 2,200円

#### ◆東京公演

会 場 :東京建物 Brillia HALL(豊島区芸術文化劇場)

公 演 期 間 :2022年4月26日(火)～5月28日(土)

料金(全席指定・税込) :S席 14,800円 / A席 11,800円 / B席 9,000円 / ヤングチケット 2,200円

※ヤングチケット・・・来場時に22歳以下のみ購入可。当日引換券。

開演1時間前から、整理券番号順に「当日券受付」にて、年齢明記の身分証提示の上、座席指定券と交換。1人2枚まで。



アートネイチャーの芸能担当グループ企業『アート三川屋』は、舞台・ドラマ・映画など、エンターテインメントの世界を彩るさまざまなウィッグを手掛けています。一点一点ハンドメイドで製作されるウィッグは、物語の人物設定や世界観の魅力を最大限に引き出せるよう、ヘアスタイル・植毛・髪色など、伝統と革新の技術を融合させた独自の技法を用いて製作しています。また、使用される毛髪素材は、人毛と人工毛、時には両方を混合するなど役柄・題材により使い分けています。

役柄に適した多彩なスタイリングを提供するとともに機能面では、出演者が最高のパフォーマンスを発揮できるよう、一人ひとり頭のサイズを正確に採寸し、快適なフィット感を実現。長期に及ぶ公演・撮影にも、出演者が演技に集中できるよう、耐久性・通気性に優れた素材を使用するなど、理想の作品作りの一助となるべく、常にウィッグ製作技術の向上に努めております。

これからもアートネイチャーグループの総力を挙げて、アート三川屋はエンターテインメントのさらなる可能性を広げる挑戦を続けてまいります。

この件に関する報道関係お問い合わせ

株式会社アートネイチャー広報部

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 3-40-7

TEL:03-3379-3688 HP:<https://www.artnature.co.jp/>

(証券コード: 7823)